

科目名	二級建築士 計画				
科目名(英)	Architectural Planning				
単位数	4単位	時間数	72時間	担当者	森行 美枝
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	建築設計事務所にて設計・監理業務担当
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	学科Ⅰで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。気象 換気 伝熱 日照 音響 色彩 住宅 商業建築 公共建築 給排水設備 電気・照明設備 消火・防災設備				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標
	○	○			2級建築士出題範囲である 伝熱計算、露点温度等のグラフが読める。
	○	○			日照・日射・採光の图形を見て、出題問題の正解が導き出せる。
	○	○			建築物に付随する設備についての種類や役割が説明できる。
	○	○			建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式について正解を選択できる。
	○	○			住宅から公共建築物まで、特徴や都市においての役割など、正解を選択できる。
テキスト・教材参考図書	日建学院2級建築土学科受験テキスト 学科Ⅰ 計画				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	第1章 気候（屋外の気候、屋内の環境）			初回に入る前に 全体カリキュラムを確認する。
	2	第1章 気候（空気汚染、換気）			授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。
	3	第2章 伝熱・結露（伝熱）			前回までの復習を確認問題で実施する。
	4	第2章 伝熱・結露（結露）			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。
	5	第1章～第2章までの確認テスト			テスト後必ず解説を読み、復習する。
	6	第3章 日照・日射・採光			授業に入る前に 3章～6章カリキュラムを確認する。
	7	第4章 音響（音の性質、遮音、音響計画）			授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。
	8	第5章 色彩（概要、表色系）			前回までの復習を確認問題で実施する。
	9	第5章 色彩（色彩と心理、色彩による環境調整）			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。
	10	第6章 環境工学融合（用語）			前回までの復習を確認問題で実施する。
	11	第6章 環境工学融合（単位）			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。
	12	第3章～第6章 確認テスト			テスト後必ず解説を読み、復習する。
	13	第1章～第6章実力テスト			テスト後必ず解説を読み、復習する。適宜 質問カード記入提出。
	14	第7章 空気調和設備 1(空気調和設備の種類)			授業に入る前に 7章～12章カリキュラムを確認する。
	15	第7章 空気調和設備 2(空気調和設備計画)			授業終了ごの確認問題は専用のファイルで保管。
	16	第8章 給水設備(給水設備)			前回までの復習を確認問題で実施する。
	17	第8章 給水設備(給湯設備)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。
	18	第9章 排水衛星設備(排水設備)			前回までの復習を確認問題で実施する。
	19	第9章 排水衛星設備(排水設備)衛生設備			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。
	20	第10章 電気・照明設備(電気設備)			前回までの復習を確認問題で実施する。
	21	第10章 電気・照明設備(証明設備)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。
	22	第11章 消火・防災設備(消火設備)			前回までの復習を確認問題で実施する。
	23	第11章 消火・防災設備(防災設備)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。
	24	第12章 設備融合(省エネルギー・環境保全)			前回までの復習を確認問題で実施する。
	25	第12章 設備融合(用語)			今回の確認問題をファイルし、次までに復習。

26	第7章～12章確認テスト					テスト後必ず解説を読み、復習する。	
27	第13章建築史(日本建築史西洋建築史、近代・現代建築史)					13章～18章カリキュラム確認する。	
28	第14章 計画一般(面積・規模、寸法設計、屋根、開口部、仕上げ、建築精算、防火、防災計画)					今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
29	第15章 住宅 (独立住宅)					前回までの復習を確認問題で実施する。	
30	第15章 住宅 (集合住宅)					今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
31	第16章商業建築 (店舗、事務所、宿泊施設、劇場、映画館、工場、倉庫)					前回までの復習を確認問題で実施する。	
32	第17章公共建築 (学校、幼稚園、保育所、図書館、美術、)					今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
33	第17章 地域計画(博物館、医療施設、その他の公共施設)					前回までの復習を確認問題で実施する。	
34	第18章 地域計画 (住宅計画、都市問題・都市理論)					今回の確認問題をファイルし、次までに復習。	
35	第13章～18章確認テスト					テスト後必ず解説を読み、復習する。	
36	第13章～第18章実力テスト					今まで配布した、問題、解説ファイル確認し、見直す。質問カード提出より、情報共有する。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○				40%
	実力試験	○	○				60%
履修上の注意	出席率60%以上が単位付与の条件						

科目名	二級建築士 法規					
科目名(英)	Building regulations					
単位数	8単位		時間数	128時間	担当者	橋 俊明
実施年度	2021年度		実施時期	前期	担当者実務経験	設計会社にて設計担当
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	学科Ⅱで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。 建築基準法 バリアフリー法 耐震改修法 建築士法 都市計画法 品確法					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○	△			法令集の使用方法の手順を守れている。
	○	○				面積・高さ等の算定方法 構造強度 防火関係 防火構造等 概要が説明できる。
	○	○				建築物に付随する設備についての種類や役割を説明できる。
	○	○				建築の歴史において、建築物の名称、建築家名、建築様式について正答を導き出せる
	○	○				法令集を使用して、各章の答えを導くことができる。
テキスト・教材 参考図書	日建学院2級建築土学科受験テキスト 学科Ⅱ 法規					
回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	建築基準法全体説明 法令集の使い方説明				ライン引き インデックス 配布
	2	法令集インデックスの貼り方				付録 法令集準備編を確認させる
	3	重要法条文ライン引き				放課後自宅でもライン引きさせる
	4	重要法条文ライン引き				放課後自宅でもライン引きさせる
	5	重要法条文ライン引き				放課後自宅でもライン引きさせる
	6	第1章 総則 用語の定義				放課後自宅でもライン引きさせる
	7	総則 面積・高さ等の算定方法				今回予定範囲を予習する
	8	総則 面積・高さ等の算定方法				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	9	総則 確認済証の交付				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	10	総則 確認済証の交付				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	11	総則 手続き等(中間検査等)				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	12	総則 手手続き等(中間検査等)				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	13	第2章 一般構造等				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	14	一般構造				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	15	建築設備				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	16	第3章 構造強度				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	17	構造関係規定の構造				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	18	構造方法(仕様規定)				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	19	構造計算				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	20	確認テスト				今までの復習プリントで復習
	21	実力試験				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	22	第4章 防火関係				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	23	防火構造等 1				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	24	防火構造等 2				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	25	耐火構造				復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング

授業計画	26 法22条区域の建築物	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	27 耐火建築物としなければならない特殊建築物	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	28 防火地域、準防火地域	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	29 防火区画等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	30 内装制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	31 内装制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	32 避難施設等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	33 第4章の 確認テスト	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	34 第5章 都市計画区域の制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	35 都市計画区域の制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	36 道路壁面戦1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	37 道路壁面戦2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	38 用途地域1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	39 用途地域2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	40 容積率 建蔽率1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	41 容積率 建蔽率2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	42 敷地面積・低層住居専用地域の制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	43 敷地面積・低層住居専用地域の制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	44 高さ制限1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	45 高さ制限2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	46 地区、街区等1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	47 地区、街区等2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	48 確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	49 実力試験	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	50 第5章の確認テスト	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	51 第6章 雜則等	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	52 雜則	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	53 建築協定	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	54 建築審査会、罰則	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	55 全範囲の模擬試験1回目 1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	56 全範囲の模擬試験2回目1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	57 全範囲の模擬試験3回目1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	58 全範囲の模擬試験4回目1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	59 全範囲の模擬試験5回目1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	60 全範囲の模擬試験6回目1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	61 全範囲の模擬試験7回目1章～5章の範囲	全範囲を今までのプリントで復習				
	62 予想問題実施1回目	全範囲を今までのプリントで復習				
	63 試験前述 復習問題 試験諸注意	全範囲を今までのプリントで復習				
	64 試験終了後、自己採点会実施 2次試験の説明	全範囲を今までのプリントで復習				
(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること						
(2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合

科目名	二級建築士 構造				
科目名(英)	Building construction				
単位数	8単位	時間数	128時間	担当者	柴田 義泰
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	設計会社にて設計担当
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	学科Ⅲで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。構造物と力 静定構造物の応力 ト拉斯 断面の性質 座屈 荷重 木構造 鉄筋コンクリート構造 鉄骨構造 特殊構造 建築材料 等内容を知ることで、2級建築士レベルの知識を身につける。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標
	○	○			構造力学に必要な基礎数学が解ける。(中学程度の基礎数学力)
	○	○			不静定構造物の算出ができる
	○	○			木造構造の各部の名称や特徴を説明できる。
	○	○			コンクリート構造の各部の名称や特徴を説明できる。
	○	○			鉄骨構造の各部の名称や特徴を説明できる。
テキスト・教材参考図書	日建学院2級建築土学科受験テキスト 学科Ⅲ構造				
回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	生活の中で構造について、建築士試験とは。			テキストにおいて予習する
	2	第1章 構造物と力	反力の計算		構造力学に必要な基礎数学を予習する
	3	第2章 構造物と力	単純梁の計算		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	4	第1章 構造物と力	方持ち梁の計算		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	5	第2章 静定構造物の応力	3ヒンジラーメンの計算		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	6	第2章 静定構造物の応力	静定構造物の計算		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	7	第3章 特定トラスの応力	トラス構造種類 や特徴		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	8	第3章 特定トラスの応力	トラス構造の計算		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	9	第4章 断面の性質	断面構造 特徴		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	10	第4章 断面の性質	図芯について		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	11	第4章 断面の性質	断面系数		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	12	確認テスト			
	13	第4章 断面の性質	断面2次モーメント計算		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	14	第5章 応力度と許容応力度	軸応力度		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	15	第5章 応力度と許容応力度	曲げ応力度		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	16	第5章 応力度と許容応力度	せん断応力度		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	17	第5章 応力度と許容応力度	軸応力度		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	18	第5章 応力度と許容応力度	許容応力度		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	19	第5章 応力度と許容応力度	許容曲げモーメント		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	20	第5章 応力度と許容応力度	圧縮応力度との組み合わせ		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	21	第6章 変形と不静定構造物	不静定構造物とは		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	22	第6章 変形と不静定構造物	基礎解法		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	23	第6章 変形と不静定構造物	破棄と破壊荷重		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	24	第6章 変形と不静定構造物	保有水平耐力		復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	25	確認テスト			

授業計画	26 第7章 荷重・外力 構造物の安定と不安定	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	27 第7章 荷重・外力 建物に作用する外力とその伝達メカニズム	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	28 第7章 荷重・外力 構造設計法の概要1	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	29 第7章 荷重・外力 構造設計法の概要2	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	30 第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	31 第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	32 第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	33 第8章 地盤と基礎構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	34 第9章 木構造 木質構造の概要	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	35 第9章 木構造 木造と木質材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	36 第9章 木構造 小屋組 軸組	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	37 確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	38 第10章 鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造とは	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	39 第10章 鉄筋コンクリート構造 RC造の材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	40 第10章 鉄筋コンクリート構造 スラブ 耐震壁	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	41 第10章 鉄筋コンクリート構造 断面算定	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	42 第11章 鉄骨構造 鉄骨構造の概要	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	43 第11章 鉄骨構造 種類と性質	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	44 第11章 鉄骨構造 トラス構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	45 第11章 鉄骨構造 耐火被覆 及びさび止め	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	46 第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	47 第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	48 第12章 その他の構造	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	49 確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	50 第13章 構造設計 木造構造の耐力壁の計算	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	51 第13章 構造設計 壁式構の耐力壁配置計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	52 第13章 構造設計 鉄骨造構造計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	53 第13章 構造設計 ラーメン構造の柱配計画	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	54 第14章 建築材料 構造用材料 木材	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	55 第14章 建築材料 構造用材料 金属	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	56 第14章 建築材料 構造用材料 コンクリート	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	57 第14章 建築材料 内装材料 非金属材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	58 第14章 建築材料 内装材料 石材	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	59 第14章 建築材料 内装材料 ガラス	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	60 第14章 建築材料 内装材料 左官材料	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	61 第15章 建築材料 プラスチック	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
	62 確認テスト	今までの復習プリントで復習				
	63 模擬試験	本番を想定 終了後答え合わせ。				
	64 本試験後採点及び復習	2次試験に備える				
(1)模擬試験を実施する。※60%以上取得すること (2)確認テスト (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合

評価方法	模擬試験	○	○			60%
	確認テスト	○	○			30%
	2級建築士 学科本試験				○	10%
履修上の注意	出席率60%以上が単位付与の条件					

科目名	二級建築士 施工				
科目名(英)	Building Construction				
単位数	4単位	時間数	72時間	担当者	納富 友羅
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	学科Ⅳで出題される以下の項目について基本知識を理解し習得する。工事監理 施工作業 仮設工事 鉄筋工事 鉄骨工事 木工事 設備工事 建築積算 測量 工事契約				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標
	○	○			工事契約における重要事項と留意事項を説明することができる
	○	○			鉄筋コンクリート造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける
	○	○			鉄骨造の施工方法に関する、過去の建築士問題が解ける
	○	○			防水工事～設備工事の施工方法についての過去の建築士試験問題が解ける
	○	○			積算に関する知識を試す、過去の建築士問題が解ける。
テキスト・教材参考図書	日建学院2級建築土学科受験テキスト 学科Ⅳ施工				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	第1章 工事契約1			第1章テキスト内の問題を事前に回答しておく
	2	第1章 工事契約2			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	3	第2章 工事監理・施工作業			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	4	第2章 工事監理・施工作業			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	5	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	6	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	7	第3章 地盤調査・測量 第4章 仮設工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	8	確認テスト			確認テストと解説を見直し復習する
	9	第5章 土工事・基礎地業工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	10	第5章 土工事・基礎地業工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	11	第6章 鉄筋コンクリート工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	12	第6章 鉄筋コンクリート工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	13	第7章 鉄骨工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	14	第7章 鉄骨工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	15	第8章 コンクリートブロック工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	16	第8章 コンクリートブロック工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	17	第9章 木工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	18	第9章 木工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	19	確認テスト			確認テストと解説を見直し復習する
	20	第10章 防水・屋根工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	21	第10章 防水・屋根工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	22	第11章 左官工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	23	第11章 左官工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	24	第12章 タイル・張石工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング
	25	第12章 タイル・張石工事			復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング

26	確認テスト	確認テストと解説を見直し復習する				
27	第13章 塗装工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
28	第13章 塗装工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
29	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
30	第14章 建具・ガラス工事 第15章 内装・断熱工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
31	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
32	第16章 ユニット工事 第17章 設備工事	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
33	確認テスト	確認テストと解説を見直し復習する				
34	第18章 用語・機械 第19章積算	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
35	第18章 用語・機械 第19章積算	復習問題で復習 プリントは次回まで提出 解説と一緒にファイリング				
36	模擬試験	今までの内容を復習する				
(1)定期試験(筆記)を実施する。※60%以上取得すること (2)2級建築士 学科本試験で合格を目指すこと 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
評価方法	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	○			40%
	実力試験	○	○			60%
履修上の注意	出席率60%以上が単位付与の条件					

科目名	二級建築士学科演習					
科目名(英)	Architectural Planning					
単位数	12単位	時間数	192時間	担当者	橘 俊明	
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	設計会社にて設計担当	
対象学科・学年	建築士専攻科 1年					
授業概要	二級建築士主要4科目おいて、7月の学科試験に向けて演習問題を解き、試験合格レベルの実践的な力をつけさせる。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				2級建築士(計画)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる
	○	○				2級建築士(法規)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる
	○	○				2級建築士(構造)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる
	○	○				2級建築士(施工)各出題範囲において60%以上の正答を導き出せる
	○	○				全科目総合得点60点以上を目指す(※各学科25点満点、全科目合計100点満点)
テキスト・教材参考図書	日建学院2級建築士学科受験テキスト 学科 I 計画					
回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	学科 I (計画) 第1章 気候				各授業項目ごとの過去問予習	
	学科 I (計画) 第2章 伝熱・結露 (伝熱)					
	学科 II (法規) 第1章総則 用語の定義 面積					
	学科 II (法規) 第1章総則 高さ等の算定方法 確認済				演習テスト終了後、見直し学習	
	学科 III (構造) 構造物と力				各授業項目ごとの過去問予習	
	学科 III (構造) 応力 片持梁の応力					
	学科 III (構造) 単純梁の応力					
	学科 III (構造) 静定ラーメンの応力				演習テスト終了後、見直し学習	
	学科 IV (施工) 第1章 工事契約				各授業項目ごとの過去問予習	
	学科 IV (施工) 第2章 工事監理、施工業務 ネットワーク					
	学科 I (計画) 第3章 日照、日射・採光					
	学科 I (計画) 第4章音響 5章色彩 6章環境工学融合				演習テスト終了後、見直し学習	
	学科 II (法規) 第1章手続き【中間検査等】				各授業項目ごとの過去問予習	
	学科 II (法規) 第2章一般構造 敷地の衛生、住居の採光					
	学科 II (法規) 第2章石綿規制・シックハウス対策					
	学科 II (法規) 第2章居室の天井・床の高さ、便所				演習テスト終了後、見直し学習	
	学科 II (法規) 第3章 建築設備				各授業項目ごとの過去問予習	
	学科 III (構造) 第2章 単純梁の応力					
	学科 III (構造) 第2章 静定ラーメンの応力					
	学科 III (構造) 第3章 特定トラスの応力				演習テスト終了後、見直し学習	
	学科 IV (施工) 第3章 地盤調査・測量				各授業項目ごとの過去問予習	
	学科 IV (施工) 第4章 架設工事					
	学科 IV (施工) 第5章 土工事・基礎事業工事					
	学科 I (計画) 第7章 空気調和設備				演習テスト終了後、見直し学習	
	学科 I (計画) 第8章 給水設備				各授業項目ごとの過去問予習	

授業計画	26	学科 I(計画) 第9章 排水衛生設備	
	27	学科 II(法規) 第3章 構造強度	
	28	学科 II(法規) 第4章 防火構造等、法22条区域内の建築物	演習テスト終了後、見直し学習
	29	学科 III(構造) 第4章 断面の性質	各授業項目ごとの過去問予習
	30	学科 III(構造) 第5章 応力度と許容応力度	
	31	学科 III(構造) 第6章 変形と不静定構造物	
	32	学科 IV(施工) 第5章 鉄筋コンクリート工事	演習テスト終了後、見直し学習
	33	学科 I(計画) 第10章 電気設備	各授業項目ごとの過去問予習
	34	学科 I(計画) 第11章 消火、防災設備	
	35	学科 I(計画) 第12章 設備融合	
	36	学科 II(法規) 第4章 防火区画・間仕切壁	各授業項目ごとの過去問予習
	37	学科 II(法規) 第4章 内装制限等	
	38	学科 II(法規) 第4章 避難施設・排煙設備	
	39	学科 III(構造) 第7章 荷重と外力	演習テスト終了後、見直し学習
	40	学科 III(構造) 第8章 地盤と基礎構造	各授業項目ごとの過去問予習
	41	学科 IV(施工) 第7章 鉄骨工事	
	42	学科 IV(施工) 第8章 コンクリートブロック工事	
	43	学科 IV(施工) 第9章 木工事	演習テスト終了後、見直し学習
	44	学科 I(計画) 第13章 建築史	各授業項目ごとの過去問予習
	45	学科 I(計画) 第14章 計画一般	
	46	学科 I(計画) 第15章 住宅	
	47	学科 II(法規) 第5章 都市計画等の制限 道路、壁面線	演習テスト終了後、見直し学習
	48	学科 II(法規) 第5章 都市計画等の制限 用途地域	各授業項目ごとの過去問予習
	49	学科 III(構造) 第9章 木構造	
	50	学科 IV(施工) 第10章 防水・屋根工事	
	51	学科 IV(施工) 第11章 左官工事	演習テスト終了後、見直し学習
	52	学科 I(計画) 第16章 商業建築	各授業項目ごとの過去問予習
	53	学科 I(計画) 第17章 公共建築	
	54	学科 I(計画) 第18章 地域契約	
	55	学科 I(計画) 第19章 各論融合	演習テスト終了後、見直し学習
	56	学科 II(法規) 第5章 容積率、建ぺい率	各授業項目ごとの過去問予習
	57	学科 II(法規) 第5章 高さ制限	
	58	学科 III(構造) 第10章 鉄筋コンクリート構造	
	59	学科 IV(施工) 第14章 建具・ガラス工事	演習テスト終了後、見直し学習
	60	学科 IV(施工) 第15章 内装、断熱工事	各授業項目ごとの過去問予習
	61	学科 IV(施工) 第16章 ユニット工事	
	62	学科 IV(施工) 第17章 設備工事	
	63	学科 IV(施工) 第18章 用語・機械、積算	演習テスト終了後、見直し学習
	64	学科 II(法規) 第5章 日影規制	各授業項目ごとの過去問予習
	65	学科 II(法規) 第6章 バリアフリー法、耐震改修促進法	
	66	学科 II(法規) 第7章 建築士法、都市計画法	
	67	学科 III(構造) 第11章 鉄骨構造 構造設計 建築材料	演習テスト終了後、見直し学習
	68	本試験	弱点チェック表で、点数が低い問題を復習する。

科目名	二級建築士 設計製図				
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING				
単位数	9単位	時間数	136時間	担当者	納富 友羅
実施年度	2021年度	実施時期	前期	担当者実務経験	設計会社にて設計担当
対象学科・学年	建築士専攻科 1年				
授業概要	2級建築士2次対策レベルに関する 各建築構造の基礎知識から応用を身に着ける。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標
	△	○			方眼紙を読みとり、m ² 計算や畳数を瞬時に算出できる。
	○	○			木造建築の課題の特徴、出題傾向を説明できる。
	○	○			RC建築構造の課題の特徴、出題傾向を説明できる。
	○	○			S造の課題の特徴、出題傾向を説明できる。
	○	○			各構造の矩計図、断面図の特徴と、各部の名称を覚えられる
テキスト・教材 参考図書	建築士専攻科オリジナルテキスト				
回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	近年の試験対策について 全体概要説明			事前にテキスト確認する
	2	設計製図試験の概要 学習のポイント			前回学習したことを復習する
	3	本試験出題のイメージ..			エキスと巻末の表現補法を確認
	4	計画の要点の概要			前回学習したことを復習する
	5	記述について、解答文作成のポイント、記述における基本構成…			前回学習したことを復習する
	6	設問に対して明快に記述する 各種図面について			前回学習したことを復習する
	7	図面と整合した記述をする			前回学習したことを復習する
	8	各種図面について 部分詳細図と矩計図			前回学習したことを復習する
	9	各種図面について 1階床仕上げが変更になった場合			前回学習したことを復習する
	10	各種図面について 建物条件に変化があった場合			前回学習したことを復習する
	11	各種図面について断面図について			前回学習したことを復習する
	12	共通項目 設計製図試験の概要 試験の制度 特徴とポイント			前回学習したことを復習する
	13	共通項目 設計製図試験の概要 不合格の図面とは			自己採点表を配布事前に確認させ、減点項目を知っておく。
	14	共通項目 設計製図試験の概要 受験の心得え 出題傾向			試験当日配布プリントを配布確認
	15	共通項目 設計製図試験の概要 近年の出題傾向			高齢者に向けた対応を調べさせる。
	16	共通項目 製図を始める前に 製図用具、用紙のセットのしかた			テキストを忘れないように
	17	共通項目 製図を始める前に (ビデオ)様々な表現			表現方法テキストで確認
	18	線の種類と用途、製図記号 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	19	外構、植栽等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	20	家具・設備機器等の表現 方眼紙で練習			表現方法テキストで確認
	21	設計製図試験における関連法規			建築基準法法令集持参確認
	22	木造 木造専用住宅 構造計画 配置計画と外部動線			
	23	木造 木造専用住宅 平面計画			
	24	木造 木造専用住宅 課題文の読み取り、			色鉛筆 蛍光ペン準備
	25	木造 木造専用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方			前回学習したことを復習する

授業計画	26	木造 木造併用住宅 構造計画 配置計画と外部動線	前回学習したことを復習する
	27	木造 木造併用住宅 平面計画	前回学習したことを復習する
	28	木造 木造併用住宅課題文の読み取り、	前回学習したことを復習する
	29	木造 木造併用住宅 ケーススタディ エスキスの進め方	前回学習したことを復習する
	30	木造 要求図面 要求図面の描き方	テキスト熟読する
	31	木造 要求図面 1階平面図兼配置図と2階平面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	32	木造 要求図面 立面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	33	木造 要求図面 断面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	34	木造 要求図面 2階床伏せ図兼1階小屋伏せ図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	35	木造 要求図面 部分詳細図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	36	鉄筋コンクリート造(RC造) 概要	前回学習したことを復習する
	37	ラーメン構造 構造 計画	前回学習したことを復習する
	38	ラーメン構造 配置計画と外部動線	前回学習したことを復習する
	39	ラーメン構造 平面計画	前回学習したことを復習する
	40	鉄筋コンクリート造 課題文の読み取り、	前回学習したことを復習する
	41	鉄筋コンクリート造 ケーススタディ エスキスの進め方	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	42	鉄筋コンクリート造 要求図面の描き方(ラーメン構造)	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	43	鉄筋コンクリート造 立面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	44	鉄筋コンクリート造 断面図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	45	鉄筋コンクリート造 部分詳細図	テキスト巻末にある答案例確認し表現補法確認する
	46	鉄骨造(S造)	
	47	鉄骨造(S造)(RC造) 概要	6月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。
	48	純ラーメン構造 構造 計画	法令集持参、関連法規に注意させる
	49	純ラーメン構造 配置計画と外部動線	建築計画テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。
	50	純ラーメン構造 平面計画	建築構造テキストを持参させ、プリントと照らし合わせる。
	51	鉄骨造(S造) 課題文の読み取り、	事例をもとに解説、プリントうはファーリングの支持をする。
	52	鉄骨造(S造) ケーススタディ エスキスの進め方	11月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。
	53	鉄骨造(S造) 要求図面の描き方(純ラーメン構造)	12月下旬に課題発表 特徴等事前調査を指示する。
	54	鉄骨造(S造) 立面図	図面のチェックと修正
	55	鉄骨造(S造) 断面図	図面のチェックと修正
	56	鉄骨造(S造) 部分詳細図	図面のチェックと修正
	57	チャレンジ課題① 課題読み合わせ ポイントライン引き	テキスト巻末課題準備
	58	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備
	59	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備
	60	チャレンジ課題① 作図演習	テキスト巻末課題準備
	61	チャレンジ課題解説 情報共有	解説復習
	62	チャレンジ課題解説 情報共有	解説復習
	63	チャレンジ課題② 課題読み合わせ ポイントライン引き	図面のチェックと修正
	64	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正
	65	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正
	66	チャレンジ課題② 作図演習	図面のチェックと修正
	67	まとめ 整理	演習問題れんげいする。

科目名	二級建築士 設計製図演習							
科目名(英)	ARCHITECTURAL DESIGN DRAWING							
単位数	16単位		時間数	240時間	担当者	納富 友羅		
実施年度	2021年度		実施時期	前期	担当者実務経験	設計会社にて設計担当		
対象学科・学年	建築士専攻科 1年							
授業概要	設計製図試験に対応した基礎理論と課題図面の解説、また試験に対応した模擬試験の演習と解説を通し、実務レベルの専門技術の習得を図る							
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				過去の2級建築士製図試験出題図面を、正しく作図することができる		
	○	○				1時間以内でエスキスをチェックリストをもとに、計画することができる。		
	○	○				15分以内に設計趣旨を文書化できる。		
	○	○				正確な面積計算や、各要求スペースを指面積内で作成できる。		
テキスト・教材 参考図書	建築士専攻科オリジナルテキスト							
回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1	近年の試験対策について 全体概要説明			事前にテキスト確認する			
	2	設計製図試験の概要						
	3	建築物のエスキス方法の確認						
	4	関係建築物VTR 鑑賞						
	5	模擬試験1 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック						
	6	模擬試験1 平面図より作図 1階						
	7	模擬試験1 平面図より作図 2階						
	8	模擬試験1 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図						
	9	模擬試験1 の解説						
	10	模擬試験1 各自の添削図面をもちよりグループ学習						
	11	模擬試験1 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有						
	12	模擬試験1 全体で情報共有。未完成者指導						
	13	模擬試験2 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック						
	14	模擬試験2 平面図より作図 1階						
	15	模擬試験2 平面図より作図 2階						
	16	模擬試験2 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図						
	17	模擬試験2 の解説						
	18	模擬試験2 各自の添削図面をもちよりグループ学習						
	19	模擬試験2 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有						
	20	模擬試験2 全体で情報共有。未完成者指導						
	21	模擬試験3 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック						
	22	模擬試験3 平面図より作図 1階						
	23	模擬試験3 平面図より作図 2階						
	24	模擬試験3 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図						
	25	模擬試験3 の解説						

授業計画	26 模擬試験3 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	27 模擬試験3 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	28 模擬試験3 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
	29 模擬試験4 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	30 模擬試験4 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	31 模擬試験4 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	32 模擬試験4 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	33 模擬試験4 の解説	
	34 模擬試験4 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	35 模擬試験4 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	36 模擬試験4 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
	37 模擬試験5 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	38 模擬試験5 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	39 模擬試験5 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	40 模擬試験5 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	41 模擬試験5 の解説	
	42 模擬試験5 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	43 模擬試験5 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	44 模擬試験5 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
	45 模擬試験6 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	46 模擬試験6 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	47 模擬試験6 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	48 模擬試験6 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	49 模擬試験6 の解説	
	50 模擬試験6 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	51 模擬試験6 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	52 模擬試験6 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
	53 模擬試験7 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	54 模擬試験7 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	55 模擬試験7 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
	56 模擬試験7 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック
	57 模擬試験7 の解説	
	58 模擬試験7 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有
	59 模擬試験7 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
	60 模擬試験7 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
	61 出張型模擬試験 9:30集合 本番模擬体験 説明	天神会場へ製図版持ち込み移動
	62 公開模試試験	事前にテキスト確認する
	63 公開模試試験	
	64 公開模試試験	
	65 公開模試試験 終了後自由解散	提出し、採点結果 後日送付
	66 模擬試験8 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
	67 模擬試験8 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
	68 模擬試験8 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック

69	模擬試験8 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出画面次回まで添削フィードバック
70	模擬試験8 の解説	
71	模擬試験8 各自の添削画面をもちよりグループ学習	情報共有
72	模擬試験8各自の添削画面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
73	模擬試験8 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
74	模擬試験9 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
75	模擬試験9 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
76	模擬試験9 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
77	模擬試験9 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出画面次回まで添削フィードバック
78	模擬試験9の解説	
79	模擬試験9 各自の添削画面をもちよりグループ学習	情報共有
80	模擬試験9 各自の添削画面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
81	模擬試験9 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
82	模擬試験10 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
83	模擬試験10 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
84	模擬試験10 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
85	模擬試験10 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出画面次回まで添削フィードバック
86	模擬試験10 の解説	
87	模擬試験10 各自の添削画面をもちよりグループ学習	情報共有
88	模擬試験10 各自の添削画面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
89	模擬試験10 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
90	模擬試験11 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
91	模擬試験11 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
92	模擬試験11 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
93	模擬試験11 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出画面次回まで添削フィードバック
94	模擬試験11 の解説	
95	模擬試験11 各自の添削画面をもちよりグループ学習	情報共有
96	模擬試験11 各自の添削画面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
97	模擬試験11 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
98	模擬試験12 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
99	模擬試験12 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
100	模擬試験12 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
101	模擬試験12 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出画面次回まで添削フィードバック
102	模擬試験12 の解説	
103	模擬試験12 各自の添削画面をもちよりグループ学習	情報共有
104	模擬試験12 各自の添削画面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有
105	模擬試験12 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習
106	模擬試験13 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック
107	模擬試験13 平面図より作図 1階	時間内作図に集中
108	模擬試験13 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック
109	模擬試験13 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出画面次回まで添削フィードバック
110	模擬試験13 の解説	
111	模擬試験13 各自の添削画面をもちよりグループ学習	情報共有

	112 模擬試験13 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有					
	113 模擬試験13 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習					
	114 模擬試験14 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	【抜け防止】1回目チェックリストによりチェック					
	115 模擬試験14 平面図より作図 1階	時間内作図に集中					
	116 模擬試験14 平面図より作図 2階	【抜け防止】2回目チェックリストによりチェック					
	117 模擬試験14 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	【抜け防止】3回目チェックリストによりチェック 提出図面次回まで添削フィードバック					
	118 模擬試験14 の解説						
	119 模擬試験14 各自の添削図面をもちよりグループ学習	情報共有					
	120 模擬試験14 各自の添削図面をもちよりグループ学習 情報共有	情報共有					
	121 模擬試験14 全体で情報共有。未完成者指導	完成まで 居残り学習					
	122 本試験注意事項説明	受験票確認 交通方法確認 持ち物確認					
	123 直前問題 問題読→エスキス →チェックリストによるチェック	図面のチェックと修正					
	124 直前問題 平面図より作図 1階	図面のチェックと修正					
	125 直前問題 平面図より作図 2階	図面のチェックと修正					
	126 直前問題 立面、断面、床組兼小屋伏図 製図	図面のチェックと修正					
	127 質疑応答	質問紙事前提出					
	128 本試験終了後 学校へ帰り、エスキスチェック 自己採点 終了	12月の発表まで待つ					
評価方法	(1)練習課題の完成度 (2)模擬試験 (3)2級建築士本試験 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	練習課題	○	◎	○			60%
	模擬試験	○	◎	○			30%
	2級建築士本試験				○		10%
履修上の注意	原則、本試験受験が単位認定の付与条件。						

科目名	特別講座 I (施工管理)選択						
科目名(英)							
単位数	1単位		時間数	20時間	担当者	橘 俊明	
実施年度	2021年度		実施時期	前期	担当者実務経験	設計会社にて設計担当	
対象学科・学年	建築士専攻科(建築士)1年						
授業概要	2施工_学科試験合格を視野に、問題読解に必要な基本的な知識を要点を絞り込んで身につけていきます。また、理解度確認のため小テスト、模擬テストを複数回、実施し実力をつけていきます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				建築施工に関する専門用語の意味を正しく説明できる。	
	○	○				小テストの平均正解率60%以上を獲得できる。	
	○	○				模擬テストの平均正解率60%以上を獲得できる。	
テキスト・教材 参考図書	①. 2級建築施工管理技士要点テキスト(2019年度版)市ヶ谷出版社 ②. 2級建築施工管理技士即戦問題集(2019年度版)市ヶ谷出版社						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	建築学 / 環境工学 / 構造力学 / 一般構造/建築材料				・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと ・授業内容に係る複数回、小テスト・模擬テストを実施するので、復習しておくこと	
	2	共通 / 舗装・植栽工事 / 建築設備					
	3	設計図書・測量/建築法規 / 建築基準/労働基準法					
	4	労働安全衛生法/環境保全関係法、その他					
	5	施工管理法/施工計画/工程管理 /品質管理/ 安全管理					
	6	建築施工 / 地盤調査 / 仮設工事/地業/ 土工事					
	7	鉄筋コンクリート工事 / 特殊コンクリート工事					
	8	鉄骨工事 / 木工事 / 防水工事、石工事 / タイル工事、屋根工事					
	9	金属工事、左官工事 / 建具工事、塗装工事					
	10	内外装工事、建設機械					
評価方法	(1)授業の中で小テストを基本毎回、実施する。(2)確認テスト(模擬テスト)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	
	小テスト		◎			その他	
	確認テスト(模擬テスト)		◎			評価割合	
						30%	
						70%	
履修上の注意	出席が総コマ数の2/3に満たない場合には、単位を与えない。また、ゼミ受講に対する意欲が感じられないと判断した場合は、ゼミへの出席停止を指示する事がある。						